

日本白鳥の会理事・玉田誠先生の功績を讃えて

更級智司

099-3615 北海道斜里郡小清水町中里2

去る平成13(2001)年5月15日午前5時20分、日本白鳥の会理事・玉田誠先生はご逝去されました。

ここに、長年白鳥の保護や観察にたずさわり、貴重は数々の資料を残し、日本白鳥の会の発展に多大なご活躍をされました先生に感謝致し、心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

玉田誠先生は、大正10(1921)年10月16日、網走管内の小清水で生を受け、工学院機械科(工学院大学)に入学、卒業後兵役に服しましたが、まもなく株式会社中島飛行機製作所に勤務、航空発動機の製作に従事致しましたが、時は終戦を迎え、小清水町に帰られ、昭和21(1946)年小清水国民学校高等科の教師として奉職され、小清水中学校の教師として、20年間の長きにわたり生徒の教育に精励され、数々の功績を残されました。

この間、気象観測を教育の中に取り入れ、生徒と共に雨の日も雪の日も情熱的に取り組んだ観測データは、網走気象台の貴重な資料となり、今なお多くの人の心に生きています。

網走市立北浜中学校に奉職中は、これまた生徒と共に取り組んだ瀧沸湖を中心とする白鳥の調査研究を推進し、不断の観測調査を続け、その成果を日本白鳥の会の会誌をはじめ、学術誌に発表しました。更に、昭和62(1987)年には、20年間に亘る瀧沸湖における白鳥の調査研究を集大成した「瀧沸湖の白鳥」を「小清水の野鳥」に発表し、専門家の高い評価を受けております。白鳥の観察調査を日本の湖、更には海外にまですすめられていました。

また、開拓に心血を注がれた先駆者の偉大な業績の歴史を掘り起こしたり、地元小清水町の稲作の歴史、北見鉄道、日食観察や旧海軍飛行場などを調査されて、冊子として残し、文化財保存・活用についても大きく尽力されました。

このような長年に亘る数々の功績が認められ、小清水町教育文化功労者として受賞したのをはじめ、町スポーツ賞、町文化賞、更に昨年10月には北海道文化財保護功労者表彰を受けられたのであります。

玉田誠先生のご活躍・ご功績はもとより、陰に陽にご協力いただいた奥様やご家族の皆様から敬意と感謝を申し上げます。

今年もまた、瀧沸湖にも白鳥の親子が羽を休める季節になり、先生もきっと天国から白鳥の観察を続けていることと思います。

ここに謹んで哀悼の意を表し、哀心よりご冥福をお祈り申し上げます。